

● 顕現後第五主日

泉のほとり

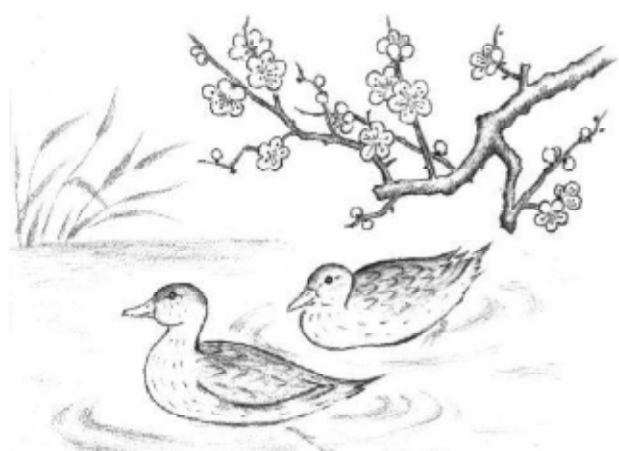
今月の詩編「第五十六編」

神の御言葉を賛美します。

神に依り頼めば恐れはありません。

肉にすぎない者が

わたしに何をなしえましよう。



新しいぶどう酒は新しい革袋に

ある時、主イエスはこんな質問をされました。「ヨハネの弟子たちは度々断食し、祈りをし、ファリサイ派の弟子たちも同じようにしています。しかし、あなたの弟子たちは飲んだり食べたりしています」。

ファリサイ派の弟子たちは週に二日断食をしていました。それは、神さまに罪を悔い改め、罪を嘆き悲しむためです。

ところが、主イエスと弟子たち、そして徴税人や罪人たちは、徴税人レビが悔い改めて主の弟子になったと言って、レビの家で宴会を楽しんでいました。本当に神さまを信じ、罪を悔い改める人は、罪を嘆き悲しんで、断食をし、お詫びのお祈りをするべきではないか。神さまを何よりも大切に信じて生きてきたファリサイ派や律法学者の人たちが腹を立てて、主イエスに質問をしたのです。

こういうファリサイ派の思いは、わたしたちにもよく分かります。両親に怒られて涙を流してごめんなきいと泣いていた子どもが、食事の時間になった途端、パクパク食事を食べはじめたら、本当に反省しているのだろうかと思いません。本当に反省しているのなら、ご飯も食べられないくらいではないかと。

主イエスのお答えはこうでした。「花婿が一緒にいるのに、婚礼の客に断食させることがあなたにできようか」。主イエスはレビの宴会をまるで結婚式の披露宴のようには思っておら

れるのです。主イエスと共に生きること、結婚式の喜びの中に生きること。それは、花婿である主イエスがおられるからです。

そして、主は二つのたとえを話されました。誰も新しい服を破って布切れをとって、それで古い服に継ぎを当てる人はいません。それと同じように、新しいぶどう酒を古い革袋に入れる人はいません。新しいぶどう酒は発酵して二酸化炭素を出すので、弱った古い革袋に入れると破れてしまい、ぶどう酒も流れてしまいます。

新しい服、新しいぶどう酒というのは、主イエスがおられるということです。主イエスがおられるのに、今までと同じようにしていたら、どちらも駄目になってしまいます。だから、新しいぶどう酒は新しい革袋に入れなさい。

けれどもわたしたちは、古いぶどう酒を染しむように、自分の罪を嘆き悲しみ、喜びに生きるよりも厳しさに生きる方がいいと思うのです。その方が自分はまだめに神さまを信じていると思えるからです。

主は、わたしたちの中に新しいものを受け入れない心があることを教えておられます。

そして、新しいぶどう酒は新しい革袋に入れるように、結婚式の喜びの中に生きるように招いておられます。それは、友達と食べたり飲んだり楽しく過ごすことではありません。どんなに厳しい状況にあっても、主と共に生きる人は、自然と笑顔で生きる事ができるのです。主があなたと共におられるからです。

見守る者たち

わたしは神に感謝する・・・

テモテへの手紙② 一章三節

死者たちは

感謝する何ものも持ちません。

死んだ魂は

感謝することができないのです。

どうかわたしを

死から目覚めさせてください。

あなたがわたしにしてくださったこと

して下さっていることを、

見出させてください。

わたしを、

あなたの御業を見守る者とし

恩知らずの罪から救い出してください。

そのようにしてわたしを、

死から目覚めさせてください。

わたしは

この教会のために祈ります。

わたし共を互いに引き離している

壁を取り壊してください。

兄弟姉妹たちの中にあるあなたの命を

知る者とならせてください。

どうかわたしにも見させてください。

人が無関心と怠惰から目覚めさせられ

死せる魂が目覚めさせられて

讚美するようになる姿を。

見えない者たちを見える者とし

それを見て、わたしたちが

感謝する者となりますように。

我々が「感謝を述べる」ととき、我々は彼の我々への顧みに対して、恩を負う者として頌えつつ讚美し、我々が得た総ての良いものに対して、彼が気前よく与えてくれたことを感謝するのである。

キリスト教綱要第二篇より

R・ボレン著 「祈る」より

祈りは楠原博行氏の訳による

今日のお知らせ

○第一礼拝後、ロビーでのコーヒーサービスと、園舎二階のリズム室では、「ぶどうの会」が開かれます。

○第二礼拝後、ホールで讚美と報告の会をします。

お昼はお弁当です。

○午後二時から教会学校校部、礼拝部、奉仕部の部会があります。

○明日（一日）午前10時から、ダンス教室の発表会がホールで行われます。

○二三日（水）朝九時半から、四月に入園する園児の体験入園と父母懇談会が行われます。

ケニアだより

建築開始②

コイノニアが動き出したことを知って新たな協力者も出てきました。自分の家族と友人で、厨房と食堂を建てましょうという申し出もありました。OGILVYという世界3大広告代理店のアフリカ統括事務所がナイロビにあります。この会社がCSR、企業の社会的貢献の一環としてコイノニアに関わることを約束してくれました。直接資金援助というわけではありませんが、コイノニアの生徒たちに様々な創造的な活動を提供し、経験を通して広い世界、将来への夢を広げる手伝いをしてくださっています。

またキューナ幼稚園の保護者達もバザーをして収益金をすべてコイノニアのために捧げてくださいました。今後は保護者のネットワークを使って企業向けの募金活動を計画しています。

かつてケニアに滞在されていた日本人の友人が亡くなられましたが、葬儀の時に集まったお金をコイノニアに捧げてくださった方が何人かおられます。多くの方々の思いがコイノニアの建物を建ててくださいます。

コイノニアのスタッフは9月から毎朝の祈り会で出エジプト記を読んでいます。神様がどのようにイスラエルを導かれたかを学びつつ、コイノニアの今が神様の目から見るとどのような意味があるのかを学び多くの励ましを得ています。まだまだ先の長い荒野の旅ですが、主が先立つ

て導いてくださっているとの確信が私たちの中にあります。

多くの方々がこの旅に加わってください、支えてくださっていることに心から感謝を申し上げます。

(市橋さら記)



聖書の会へどうぞ

2月13日(水)

●朝の聖書の会(10時)

「時は満ち、神の国は近づいた」

マルコ1章14節〜15節

菊池美穂子 副牧師

●聖書の夕べ(19時)

「この最初のしるしを」

ヨハネ2章1〜12節

黄允湜 副牧師

ミニコンサート

3月7日(木) 12時30分より

ピアノ 原田信次郎 ユメディテーション

次週礼拝

●第一礼拝(午前9時30分)

讃美歌 小さいこどものわたしのよう

説教 「言葉は命の種子」

聖書 ルカ8章4〜15節

説教者 吉村和雄 牧師

●第二礼拝(午前11時10分)

讃美歌 76番 339番

詩篇 56篇

説教 「あなたも赦しに生きられる」

聖書 ルカ6章37〜42節

説教者 菊池美穂子 副牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 小さいこどものサムエルは
わたしのよう

説教 「あなたを休ませる方」

聖書 ルカ6章1節～11節(新約P111)

司式 山名 隆史 兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 菊池 美穂子 副牧師

前奏曲「アンダンテ」 J.S.バッハ

○「小さいこどものサムエルは」

1. 小さいこどものサムエルは
神さまの呼ぶ声、聞きました
「サムエルよ、サムエルよ」

2. 小さい声で今日もまた
神さまの呼ぶ声、聞こえます
ぼくの名前も、わたしのも

「しもべは聞きます 主よ、お話しください」
アーメン

○サクソフォンによる讃美
「こども神の」

○わたしのよう

1. わたしのよう 小さな子でも
真心こめて 主をたたえれば
羊の御心に かなうでしょうか
※ 感謝します 感謝します 感謝します 神さま

2. 小鳥の声や きれいなもみじ
野菜 果物 海でとるもの
ふた親 兄弟 友達など

※ くりかえし

3. 何ものよりも 罪やあやまち
おゆるしになる イエス・キリストを
くださいました 父なる神に
※ くりかえし

聖餐曲「小さな羊飼いの」 C.ドビュッシー

後奏曲「コレルリのテーマによるフーガ」 J.S.バッハ

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 16番 259番

詩篇 第56編(旧約P889)

説教 「プライドを捨てさせる喜び」

聖書 ローマ3章27節～31節(新約P277)

司式 山名 隆史 兄

説教者・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「世の人全ての慰めなるキリスト」 J.S.バッハ

○讃美歌 16番

○サクソフォンによる讃美
「こども神の」

○聖歌隊による讃美
「全地よ、主をたたえよ」 T.列ス
全地よ主にむかい ほめ歌うたえよ
かしくみたたえよ きたりて喜べ
主こそ神にまし われらを続けたもう
われらはその民 その牧のひつじ
喜びうたいて みかどを入りつつ
み名をばたたえて 大庭に来たれ
主はめぐみ深く あわれみ絶えせじ
主のまことたかく ときわに変わらじ
とわときわに アーメン

○讃美歌 259番

聖餐曲「天と地の御神よ」 S.カークワート

後奏曲「コレルリのテーマによるフーガ」 J.S.バッハ

※ 礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。